

2022年6月2日

疾病の予防、早期発見・治療の為の 健診データとゲノムデータを用いた共同研究に関する業務提携について

ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社
株式会社 iLAC

ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松田泰秀、以下「WCC 社」と)と株式会社 iLAC(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:佐藤孝明、以下「iLAC 社」)は疾病の予防、早期発見・治療を目的として、健康データとゲノムデータを用いた共同研究に関する業務提携を行うことといたしました。

現在、日本人の2人に1人は、がん罹患するといわれております。国立がん研究センターの推計によると、年間約100万人が新たにがんと診断され、うち3割以上が就労世代と言われており、定期的な健康診断によるがんの早期発見・治療の重要性が高まっております。加えて、遺伝子変異等のがんの特徴に合わせた治療等、個人の遺伝子データに基づいた治療を行う個別化医療が進んでおり、個人の日々の健康データとゲノムデータを掛け合わせた分析が求められております。

WCC 社は、全国の約 2,000 の医療機関と提携し 1,700 社以上の企業及び健康保険組合向け(以下、顧客)に、健康診断・人間ドック等の予約、精算代行、健康診断結果の一元化等を行うネットワーク健診事業を行っております。顧客は、個別に医療機関と契約することなく、希望する医療機関を選択することが可能です。加えて、健康診断結果、就労データ、ストレスチェックデータ及び各種面談の記録を個人単位で紐づけ、心と身体に関するデータを一元管理・可視化できる健康管理クラウド事業を提供しております。

iLAC 社は、個人のゲノムを高速で解読する「次世代シーケンサー^{*1}」を国内最大規模で最も効率良く運用し、代謝産物等も含めた統合解析^{*2}を行うことができる唯一の全ゲノム解析スタートアップです。

今般の業務提携により、WCC 社が展開するネットワーク健診事業及び健康管理クラウド事業と、iLAC 社のゲノム解析やがんの遺伝子検査を連携する^{*3} ことで、がんをはじめとした疾病の予防、早期発見・治療に繋げることを目指します。また、具体的内容について協議を重ね、WCC 社が保有する健診データと iLAC 社のゲノムデータを共同で解析し、病気の予測及び発症前のリスクの診断、遺伝子機能の解明や、疾患の機序解明に繋がる共同研究を進めてまいります。

今後も、WCC 社及び iLAC 社は、疾病予防、健康増進、疾病の早期発見・治療に取り組み、国内の医療ヘルスケアの発展に貢献してまいります。

*1 次世代シーケンサーとは、遺伝子の塩基配列を高速に解読することができる装置のこと。

*2 代謝産物等も含めた統合解析とは、生体内の代謝によって生じる物質(代謝産物)等をゲノム情報とその他の情報(タンパク質や臨床情報)などと合わせて複合的に解析を行うこと。より正確で効率的な解析につながると考えられている。

*3: 個人情報、要配慮情報を利用する場合にはご本人、顧客の同意を得られた場合に限りです。

(以下会社情報)

WCC 社

社 名: ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社

代表者: 松田泰秀

設 立: 2006 年 7 月

株 主: SOMPO ホールディングス、伊藤忠商事他

概 要: 「企業と人を元気にする」というコーポレートビジョンの下で、国内のみならずグローバル経済を牽引する企業や人々の生活を支える健康保険組合等、全国で約 1,700 を超える法人向けにコーポレート・ウェルネス領域におけるネットワーク健診事業(健診ソリューション)と健康管理クラウド事業(健康管理 SaaS)等を展開。

iLAC 社

社 名: 株式会社 iLAC

代表者: 佐藤孝明

設 立: 2012 年 8 月

株 主: 佐藤孝明、伊藤忠商事、島津製作所他

概 要: iLAC は、個人に最適な治療や薬の選択につながる「プレジジョン・メディシン(個別化精密医療)」の推進実現 を目指し、ゲノム解析、発現解析、ゲノム構造解析を提供。オミックス解析ネットワークを有し、多次元マーカーによる病態評価体制を整備。蓄積される精密で広範囲な高付加価値データベースを用いて、新たな治療標的の発見を目指す。

本件に対する問い合わせ先

ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社

経営企画室 金鹿(かねしか)/佐々木

メール ir@wellcoms.jp

株式会社 iLAC

取締役 三好(みよし)

メール contactinfo@i-lac.co.jp